

新庁舎建設 やっぱり見直しが必要

6月 議会 報告

新市庁舎建設に係る関連事業で周辺道路整備費が補正予算に計上されました。はらなほこ市議が代表質問で、新市庁舎建設についての問題を指摘しました。また「岐阜市新庁舎を考える会」から、新庁舎の建設計画の見直しを求める請願が出されました。日本共産党市議団は採択を求め奮闘しました。

問題① 入札に着手は 勇み足

岐阜市は新庁舎建設において8月に入札により建設業者を決定し、来年1月に工事に着手するとしています。入札時点で建設予定地民有地には、まだ建物が建っている状態です。

新庁舎建設敷地が不確定で、安全も未確認である段階での工事発注は、建物解体・撤去・土壌調査という基本原則から逸脱しています。

問題② 公共交通整備が 最優先

立体駐車場建設費が10億円から30億円になるとしています。3倍も増大することに市民の理解が得られるか疑問です。建設予定地周辺にはメディアコスモス来館者用、新市庁舎来庁者用あわせて733台の駐車場をつくる計画です。高齢化が進むなか、こんな規模の駐車場は必要ありません。公共施設をつくるこのタイミングで、歩行者自転車、自転車の交通環境の整備、公共交通利用の向上に乗り出すことが最優先です。

問題③ 膨らむ事業費、 市民の理解は得られない

事業費254億円のうち、財源の内訳は、基金が約129億円。国や県からの補助金で5・6億円、地方債（借金）で115億円。全体の事業費の46%が借金で賄われます。事業費については、今後、東京オリピック・パラリンピックなどで資材が高騰することによって、もっと膨らむ恐れがあります。それ以外にも、6月議会でも新市庁舎の関連事業が上程され、全体として新市庁舎に関する事業費はもっと膨らみます。

問題④ 将来世代へ過度な負担を強いる

今後、岐阜市は大型事業が目白押しです。（下表）ゴミ処理など、市民生活に直結し、待たなしのものが多くあります。今後膨らむ可能性のある総事業費254億円の新市庁舎建設が、後年市財政を圧迫する火種として残るのではないかと、今一度優先順位を考えて、節約できるものは節約をするべきです。

今後予想される大型事業

事業名	事業規模
掛洞プラント建て替え	約140億円
東部クリーンセンター粗大ごみ処理施設建て替え	約35億円
衛生施設組合建て替え	約420億円 (うち市負担約160億円)
リサイクルセンター建て替え	約35億円
薬科大学の整備	約80～90億円

日本共産党の提案

- 市内7か所の地域の事務所に福祉事務所分室を配置し、役割を高めます。一極集中でなく市民の生活圏内で行政サービスが事足りるようにします。
- 隣接する旧県総合庁舎を活用します
- 豪華な吹き抜けや市長ら特別職の特権

- エレベーターは取りやめます。
- 二棟（メディアコスモス来館者用・来庁者用）733台の立体駐車場は、一棟で一体利用とし規模を縮小します。
- バス路線網の整備と料金引き下げをはかり、公共交通利用を促進します。
- 景観にマッチした災害にも強い低層にします。

日本共産党 岐阜市議団ニュース

発行 日本共産党岐阜市議団
岐阜市今沢町18 岐阜市役所内 電話 265-4141 (内線3343)
ホームページ <http://gifushi.jcpweb.net/>

日本共産党岐阜市議団 検索 ご注意ご要望をお寄せください。



金華橋通りの旧明德小学校の東にあるシナサワグルミの木の下で。左から堀田信夫市議、はらなほこ市議、井深正美市議。樹齢250年と言われ、戦時中は根元に防空壕があり、市民の命を守りました。岐阜空襲にも耐え大きく枝を広げています。

それで、市長 あなたの意見は？

共謀罪（テロ等準備罪）について

共謀罪は、まだ起きていない277の「犯罪」について、2人以上で話し合い「合意する」ことが、「犯罪に問われる」というものです。対象となる法律のなかには、所得税法や地方税法、消費税法など、市民に身近な法律も対象に含まれています。取り締まり対象の「組織的犯罪集団」の明確な定義はなく、捜査機関の解釈や裁量で、市民の普通の暮らしのなかでも、団体の活動でも対象にされかねません。

国民世論は、衆議院での審議は「十分ではなかった」、法案への国民の理解は「深まっていない」が多数を占めており、そんななかで参議院での委員会採択を飛び越えて本会議採択を強行したことに對し、憲法で保障されている内心の自由、人権が守られるためにも、遺憾の意、反対の立場を表明してほしいと質しました。

市長は政府と世論の両論併記で、自身の政治姿勢について全く述べませんでした。

